

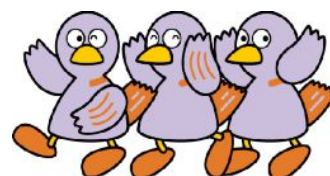
平成24年度

埼玉県公立小・中学校等教員採用選考試験要項

(第1次試験 平成23年7月3日(日)実施)

埼玉県教育委員会

埼玉県の教員を希望する皆さんへ
魅力ある学校づくりに明るくて子ども好きな
あなたが必要です



埼玉県のマスコット コバトン

I 志願区分及び教科・採用見込数・受験資格

志願区分	教科	採用見込数	受験資格
小学校等 教員	—	○小学校教員約650名 ○特別支援学校(小学部)教員約40名 計 約690名	◎昭和36年4月2日以降出生した者。 ただし、経験者特別選考及び臨時的 任用教員経験者特別選考受験者は、 昭和27年4月2日以降出生した者。 ◎志願する学校種別の教員普通免許状 を所有している者又は平成24年3月 31日までに取得見込の者。 ◎地方公務員法第16条及び学校教育法 第9条の欠格事項に該当しない者。
中学校等 教員	国語、社会、数学、理科、 音楽、美術、保健体育、 技術、家庭、英語	○中学校教員約310名 ○特別支援学校(中学部)教員約10名 計 約320名	
養護教員	—	○小学校、中学校、高等学校、特別支援 学校 あわせて 約35名	

全志願区分において 障害者特別選考を実施	○全志願区分あわせて 若干名	◎上記の資格に加え、「II 選考区分 2 特別選考(1)」の受験資格を有する者。
-------------------------	--------------------------	---

- ※1 小学校等教員の志願区分で合格し採用となった場合、小学校又は特別支援学校(小学部)に配置します。中学校等教員の志願区分で合格し採用となった場合、中学校又は特別支援学校(中学部)に配置します。
- ※2 特別支援学校教諭免許状所有者は、埼玉県公立高等学校等教員採用選考試験で実施する「特別支援教育に関する特別選考試験」を受験することも可能です。
- ※3 採用見込数は欠員の状況等により変更になる場合があります。
- ※4 埼玉県公立高等学校等教員採用選考試験との併願はできません。
- ※5 さいたま市立小・中学校の教員を希望する者は、本要項に基づく選考試験ではなく、さいたま市教育委員会の実施するさいたま市立小・中学校等教員採用選考試験を受験する必要があります。

II 選考区分

一般選考及び特別選考の区分により実施します。

1 一般選考

- ・一般選考とは、次の「2 特別選考」によらない選考をいいます。
- ・特別選考の受験資格を有していても、特別選考を受験せずに、一般選考を受験することができます。

2 特別選考

- ・特別選考は、P 1 の受験資格に加え、下表に示した特別選考ごとの受験資格を満たす者が志願できます。
- ・各特別選考の採用見込数は、障害者特別選考以外は、「Ⅰ」の採用見込数に含まれます。
- ・出願方法・提出書類等については「Ⅲ 受験手続」を参照してください。
- ・「得意・特技特別選考」（小学校等教員）は、専科の教員として採用するものではありません。

種 別	対 象	受 験 資 格	試験の免除等
(1) 障害者 特別選考	全志願区分	○以下の要件を全て満たす者。 ・自力による通勤ができ、かつ、介助者なしに職務の遂行が可能 な者。 ・身体障害者手帳の交付を受けている者。	第 1 次試験免除 ※申し出により障害 の種類や程度に応じ て受験上配慮し、必 要に応じて実技試験 の一部を免除、又は 内容等を変更
(2) 経験者 特別選考	全志願区分	○ <u>国公立学校における志願区分に該当する本採用教員として、若しくは学校教育法第2条に基づき設置される私立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴（現在在職していない場合を含む。）が、平成23年3月31日現在通算2年以上の者。</u> ○「教職歴」とは、学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、中等教育学校、特別支援学校での経験をいう。 ○中等教育学校における教職歴については、前期課程を中学校の教職歴とみなす。前期課程及び後期課程の双方を同時に担当した期間については、1週間あたりの授業時間数が前期課程の方が多い場合には、中学校の教職歴とみなす。 ○特別支援学校における教職歴については、小学部は小学校、中学部は中学校の教職歴とそれぞれみなす。 ○養護教員志願者は、校種にかかわらず、養護教員としての教職歴を通算する。	第 1 次試験免除
(3) 臨時的任用 教員経験者 特別選考		○埼玉県内の公立学校（さいたま市立小・中・特別支援学校（小・中学部）を除く。）及び同県内国立大学法人が設置する学校における <u>常勤の臨時的任用教員又は任期付短時間勤務教員としての経験が、直近3年間で7か月以上ある者。</u> 但し、次の各号に掲げる要件に留意する。 ・臨時的任用教員等の経験は、上記に掲げる学校での経験とする。なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象とする。 ・直近3年間とは、平成20年4月1日から平成23年3月31日までの期間とする。 ・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば当該月は経験月とする。 ・経験期間は連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。	
①A選考	全志願区分	○上記の条件を全て満たす者。	第 1 次試験は、 筆答試験に代えて 論文試験
②B選考	全志願区分	○上記の条件を全て満たし、平成23年度埼玉県公立小・中学校等教員採用選考試験第2次試験結果の総合評価が「C」の者。（受験する志願区分・教科と同一のものに限る。）	第 1 次試験免除

種 別	対 象	受 験 資 格	試験の免除等
(4) 大学推薦特別選考		○詳細は別途定める「 <u>大学推薦特別選考実施要項</u> 」による。 要項は、埼玉県教育委員会のホームページに掲載する。 ○平成24年3月に卒業見込又は修了見込の者。	
①小学校	小学校等 教員	○小学校教諭の1種普通免許状取得のための課程認定を受けている大学の推薦を受けた者。	第1次試験免除
②中学校 (数学・理科)	中学校等教 員(数学・理科)	○中学校教諭数学又は理科の1種普通免許状取得のための課程認定を受けている関東地区の大学の推薦を受けた者。	第1次試験免除
(5) 得意・特技特別選考	小学校等 教員	○算数・理科・音楽・体育・英語の <u>いずれかの分野</u> において全国レベルの大会・コンテスト等で <u>優秀な成績</u> を収めた者又は <u>指導者級の資格</u> を有する者。あるいは、該当教科の中学校の免許状を既に取得している者(取得見込は不可)。 ・「優秀な成績」と「指導者級の資格」とは、算数・理科・音楽・体育・英語の各分野において、学校における教育指導に生かせる内容であると県教育委員会が認めるものをいう。 ・「優秀な成績」とは、原則として大学時代以降の実績とする。 ・「指導者級の資格」とは、音楽・体育・英語の分野で原則として以下のものをいう。 [音楽分野]民間団体の実施する音楽に係るグレード検定4級以上等 [体育分野]剣道四段以上、柔道四段以上等 [英語分野]TOEIC730点以上、TOEFL550点以上、英検準1級以上等 ・各分野における「等」とは、各分野に記載された資格と同等と認めるその他の資格をいう。 ○受付締切後、成績(実績)と資格について書類審査を行い、本特別選考の対象者としての可否について通知する。対象者となった場合は、第1次試験の筆答試験に代えて論文試験を実施する。 <u>対象者とならなかった場合は、一般選考受験者として通知する。</u>	第1次試験は、 筆答試験に代えて 論文試験
	中学校等 教員	○次のア、イ、ウのいずれかに該当する者。 ア スポーツの分野において全国レベルの大会等で <u>優秀な成績</u> を収めた者。 ・「優秀な成績」とは、埼玉県中学校体育連盟が専門部を設置している競技種目(以下の種目)において、原則として大学時代以降の実績とする。 陸上競技、水泳、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、軟式野球、体操、新体操、バレーボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、スキー、スケート、アイスホッケー、テニス ※軟式野球については、野球(硬式、準硬式)の実績も可 イ 剣道四段以上または柔道四段以上の者。 ウ 以下に掲げる教科の中から志願する教科を含め3つ以上の教科の中学校免許状を既に取得している者(取得見込は不可)。 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語 ※保健体育と保健は一つの教科とみなし、保健体育と保健両方を有していても一つの免許として数える。 ○受付締切後、成績(実績)と資格について書類審査を行い、本特別選考の対象者としての可否について通知する。対象者となった場合は、第1次試験の筆答試験に代えて論文試験を実施する。 <u>対象者とならなかった場合は、一般選考受験者として通知する。</u>	

種 別	対 象	受 験 資 格	試験の免除等
(6) 国際貢献活動 経験者特別選考	全志願区分	<p>○独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時までに24月以上の国際貢献活動経験を有する者。</p> <p>・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば当該月は経験月とする。</p>	第1次試験は、 筆答試験に代えて 論文試験
(7) 特別支援学級 担当特別選考	小学校等 教員 中学校等 教員	<p>○次のア及びイの要件の両方を満たす者</p> <p>ア 特別支援学校教諭免許状を既に所有している者又は特別支援教育担当者としての経験が直近5年間で3年以上の者。</p> <p>イ 小・中学校の特別支援学級等での特別支援教育担当教員を強く希望する者</p> <p>・「特別支援教育担当者としての経験」は、<u>国公立の小・中学校における特別支援学級の担任、通級指導教室の担当及び国公立の特別支援学校教諭の経験をいう。</u></p> <p>・直近5年間とは、平成18年4月1日から平成23年3月31日までの期間とする。</p> <p>・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば当該月は経験月とする。</p> <p>・経験期間は連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。</p> <p>※ 本特別選考で合格した者は、埼玉県公立小・中学校の特別支援学級担任として優先的に配置する。</p>	第1次試験は、 筆答試験に代えて 論文試験
(8) 埼玉教員養成 セミナー受講生 を対象とした特 別選考	小学校等 教員	○平成22年度埼玉教員養成セミナー受講生	別途定める要項による

Ⅲ 受験手続

1 出願方法 [※一般選考・特別選考共通]

(1) 【埼玉県内会場受験者】

提出方法	受 付 期 間	提出先	備 考
持参	平成23年5月19日（木） ～5月23日（月） 平日 9：00～16：00 土日 9：00～15：00 ※いずれも12:00～13:00は除く。	P13の別表1、志願書等 持参先・郵送先欄の志願 区分・教科等に該当する <u>教育事務所</u>	○ <u>埼玉県内</u> に居住する者は、本人が持参する。ただし、受験者の親族に限り、代理者による提出も認める。 ※土、日曜日は混み合うことが予想されます。
郵送	平成23年5月17日（火） 消印まで有効	P13の別表1、志願書等 持参先・郵送先欄の志願 区分・教科等に該当する <u>教育事務所</u>	○ <u>埼玉県以外</u> の地域に居住する者は、郵送も認める。 ○封筒（角形2号33cm×24cm）の表の左下に <u>志願区分、教科名</u> を朱書する。

(2) 【仙台・弘前会場受験者】

○志願区分「小学校等教員」及び「中学校等教員のうち、数学・理科」の受験者を対象とする。

提出方法	受 付 期 間	提出先	備 考
持参	平成23年5月28日（土） <u>のみ</u> 10：00～16：00	東北福祉大学（国見キャンパス） 仙台市青葉区国見1-8-1 JR 仙山線「東北福祉大前駅」下車 徒歩5分	○原則として本人が持参する。ただし、受験者の親族に限り、代理者による提出も認める。
郵送	平成23年5月17日（火） 消印まで有効	埼玉県教育局小中学校人事課 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1	○封筒（角形2号33cm×24cm）の表の左下に <u>志願区分、教科名及び仙 台受験又は弘前受験</u> と朱書する。

2 提出書類（各様式は、埼玉県教育委員会ホームページからもダウンロードできます。）

(1) 志願書提出時 平成23年5月19日（木）～23日（月）（郵送は5月17日（火）消印まで）
※仙台・弘前会場受験者は5月28日（土）も含む。

提 出 す る 書 類	注 意 事 項
①埼玉県公立学校教員採用志願書 ②志願票（電算用） ③受験票（50円切手を貼る）	<ul style="list-style-type: none"> 各書類は、所定の用紙を使用する。 受験票の写真是不要。（受験票は6月末日までに返送するので<u>志願書と同じ写真</u>を貼り、試験当日に持参。） 受験票をホームページからダウンロードする場合は、<u>必ず官製はがきに印刷して使用する。</u>

※特別選考志願者は、上記①～③の他に、別途下記の書類を提出する。

特別選考に係る提出する書類	注 意 事 項
障害者特別選考 ◇身体障害者手帳（提示のみ） ○通知用封筒（角形2号封筒1通）	<ul style="list-style-type: none"> 志願書等の提出は、本人持参によるものとする。なお、出願に際して、点字、拡大文字、手話通訳及び車椅子使用など受験上の配慮を希望する場合は、志願書の備考欄に記載するとともに、申し出る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・角形 2 号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。
経験者特別選考 ○履歴書写し ○通知用封筒（角形 2 号封筒 1 通）	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書については、本採用最終勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。 ・所属所の履歴書がない場合には、本採用時の人事異動通知書及び在職証明書。（中等教育学校で、これらの書類では前期課程と後期課程の別が分からない場合、又は前期課程と後期課程の双方を担当した期間がある場合には、当該年度の勤務実績について申告すること（様式任意）。） ・角形 2 号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。
臨時的任用教員経験者特別選考 ○経験年数を証明する辞令の写し ○総合評価通知（原本） ○通知用封筒（角形 2 号封筒 1 通）	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令の写しが無い場合は、原本証明してある履歴書。 ・「総合評価通知」はB選考の場合のみ。 ・B選考の場合は、角形 2 号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。
大学推薦特別選考 ○大学が作成した推薦書 ○通知用封筒（角形 2 号封筒 1 通）	<ul style="list-style-type: none"> ・角形 2 号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。
得意・特技特別選考 ○実績・資格等調書 ○実績・資格等を証明する賞状、認定書等の写し又は該当教科の中学校免許状の写し ○通知用封筒（長形 3 号封筒 1 通）	<ul style="list-style-type: none"> ・実績・資格等を証明する賞状、認定書等の写しは、なるべくA4判に縮小又は拡大する。 ・長形 3 号封筒に80円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。
国際貢献活動経験者特別選考 ○国際貢献活動の経験期間を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献活動の経験期間を証明する書類については、派遣機関等が発行したもの、又は証明したもの。
特別支援学級担当特別選考 ○特別支援学校教諭免許状の写し又は「実務に関する証明書」	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育担当者としての経験を証明する「実務に関する証明書」は、直近の 5 年間で勤務した学校の所属長が証明したもの。

(2) 第 1 次試験受験時 平成 2 3 年 7 月 3 日（日）

提 出 す る 書 類	注 意 事 項
①第 1 次試験結果通知用封筒（角形 2 号封筒 1 通） ②人物考査書 （第 1 次試験免除者は 8 月 2 0 日に提出）	<ul style="list-style-type: none"> ・角形 2 号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。また、左下に志願区分、教科名、<u>第 1 次試験受験番号</u>を記入する。 ・人物考査書は、最終卒業（見込）学校の学長、学部長等又は在職した所属長が作成したもので、作成者が厳封したもの。なお、本県公立学校に勤務している者は、原則として6月1日以降に勤務校の校長が作成したもの。

(3) 第2次試験受験時 平成23年8月20日(土)

提出する書類	注意事項
①体育実技調書 (小学校等、中学校等体育受験者) ②第2次試験結果通知用封筒(角形2号封筒2通) ③教員免許状の写し又は取得見込証明書 ④学業成績証明書 ⑤戸籍抄本(現在の姓が、教員免許状、学業成績証明書の姓と異なる者のみ提出) ⑥人物考査書(第1次試験免除者のみ)	・①の調書の用紙は、第1次試験合格者(第1次試験免除者を含む。)に送付する。 ・角形2号封筒に200円切手を貼り、宛先、郵便番号を記入する。また、左下に志願区分、教科名、 <u>第1次試験受験番号</u> を記入する。 ・免許状所有者は、免許状の写し(裏面に記載のある場合は、両面をコピーしたもの)。 ・学業成績証明書は、最終卒業(見込)学校の学長または学部長等が作成し、厳封したもの。なお、大学院修了者は大学院の成績証明書も添えること。また、短大等から編入した者は、編入前の学校の学業成績証明書も添えること。免許取得のための通信・聴講等の大学の学業成績証明書は不要。

- ※1 志願書類が不備のものは受け付けません。なお、一度提出された書類は返却しません。
 ※2 記載事項に故意に不正があった場合は、受験を認めないか合格を取り消すことがあります。
 ※3 健康診断書は、第2次試験合格者に提出を依頼します。
 ※4 提出する通知用封筒の宛先は「様」で記入願います。受験票の「様」も書き換えないでください。

IV 選考の基本方針

選考の基本方針

豊かな人間性と教員としての使命感、幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた多様な人材を採用するために、筆答試験、論文試験、面接試験、実技試験の成績に加えて、人物考査書等を勘案して選考します。

試験の配点

- 第1次試験(一般選考) → 一般教養・教職科目、専門分野、面接試験 各100点
 (特別選考) → 論文試験、面接試験 各100点
 ○ 第2次試験(小学校等教員) → 論文試験100点、実技試験50点、面接試験200点
 (中学校等教員) → 論文試験100点、実技試験100点、面接試験200点
 (養護教員) → 論文試験100点、実技試験100点、面接試験200点

ホームページで、選考方法や面接試験の評定の観点等の情報を提供しています。

埼玉県教育委員会ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/h24kyoinsaiyo/>

V 選考試験の内容

1 第1次試験

- (1) 期日 平成23年7月3日(日)
 (2) 会場 P13の別表1に掲げる第1次試験会場のうち、受験票で指定する学校等
 (3) 日程(予定) ※一部、適性検査を先に行う者と面接試験を先に行う者に分かります。

一般選考の部

8:30	8:50	9:15	10:15	10:30	10:40	11:40	12:30	13:30	14:10	17:00
受付	諸注意	①筆答試験 (専門分野)	休憩	諸注意	②筆答試験 (一般・教職)	昼食 休憩	適性検査 面接試験	休憩	面接試験 適性検査	

15:10

特別選考の部（論文試験・面接試験・適性検査）

8:30 8:50 9:15 10:15 10:30 10:40 11:40 12:30 13:30 13:35 17:00

受付	諸注意	論文試験	休憩	諸注意	適性検査 面接試験	昼食 休憩	面接試験 適性検査	休憩	面接試験
----	-----	------	----	-----	--------------	----------	--------------	----	------

(4) 筆答試験

※学習指導要領については、平成20年3月告示の学習指導要領から出題するものとする。

①第1部（専門分野）

志願する教科等に関する、教員として必要な知識、技能及び学習指導法等の基礎を問う択一式の筆答試験。

②第2部（一般教養・教職科目）

人文・社会・自然科学及び時事問題等の分野に関するものや教育原理等の教職科目の各分野にわたり基礎的教養を問う択一式の筆答試験。

(5) 面接試験

集団面接（5人程度の集団で、自己アピール及び質疑応答。）

(6) 論文試験

教育実践等に関する内容について論述（1題・60分・1000字以内）

(7) 携行品

- ①受験票 ②人物考査書 ③第1次試験結果通知用封筒 ④上ばき ⑤はきもの入れ ⑥弁当
⑦筆記用具（HBの鉛筆を必ず含む。）

2 第2次試験（第1次試験合格者及び第1次試験免除者について行います。）

(1) 期日 **平成23年8月20日（土）・21日（日）**

(2) 会場 P13の別表1に掲げる第2次試験会場の大学等

(3) 日程（予定）

第1日 8月20日（土） ※全志願区分同一の日程で実施します。終了時刻は受験者により異なります。

8:20 8:40 9:00 10:00 10:20 12:00 13:00 17:00

受付	諸注意	論文試験	休憩 移動	実技試験	昼食 休憩	実技試験
----	-----	------	----------	------	----------	------

第2日 8月21日（日） ※受付は午前、午後と分けます。時刻は、第1次試験結果で通知します。

8:20 8:35 12:30

午前受付

受付	面接試験 （個人面接・課題討論）
----	---------------------

12:45 13:00

午後受付

受付	面接試験 （個人面接・課題討論）
----	---------------------

17:30

(4) 論文試験

教育に関する内容について論述（1題・60分・1000字以内）

※参考 平成23年度埼玉県公立小・中学校等教員採用選考試験における論文題

現在、子どもたちの自信の欠如や自己肯定感の低さが課題となっています。

あなたは、このことをどのようにとらえますか。

また、子どもたちが自信や自己肯定感をもつことができるようにするために、あなたはどのように教育活動に取り組んでいきますか。具体的に述べなさい。

(5) 面接試験

○個人面接（模擬授業を含む。）

○課題討論（5人程度の集団で、共通の課題を提示し、その課題についての討論。）

(6) 実技試験

志願区分	教 科	内 容
小学校 等教員	—	〈音楽〉「 <u>全訳バイエルピアノ教則本</u> 」の次の課題曲の中から1曲選んでピアノで弾く。[課題曲] 40番 49番 55番 66番 74番 78番 100番 ―― 〈体育〉鉄棒運動（逆上がり→後方支持回転）
中学校 等教員	国 語	1 指導計画づくり 2 模擬授業
	社 会	1 指導計画づくり 2 模擬授業
	数 学	1 指導計画づくり 2 模擬授業
	理 科	1 模擬授業（観察・実験の基本操作を含む。）
	音 楽	1 任意の楽器の演奏または歌唱を行う。 2 提示された旋律をアルトリコーダーで初見視奏をする。 3 「荒城の月」、「夏の思い出」、「浜辺の歌」、「早春賦」、「花」の中から1曲選んで、自分で伴奏をつけて歌う。（移調してもよい。） 4 「コンコーネ50番」の中から指定された曲を歌う。 5 模擬授業
	美 術	1 作品制作 2 模擬授業
	保 健 体 育	【必須】マット運動、ハードル走、水泳、ダンス 【選択】各項目から、それぞれ種目を選択し、志願書に記入すること。 ○器械運動（鉄棒運動、跳び箱運動から1種目選択）、○球技（サッカー、バスケットボール、バレーボールから2種目選択）、○武道（柔道、剣道から1種目選択）
	技 術	1 技術分野の実習に関すること 2 模擬授業
	家 庭	1 家庭分野の実習に関すること 2 模擬授業
	英 語	1 英語によるスピーチとそれに関わる質疑応答 2 模擬授業
養 護 教 員		1 養護に関する実技

※中学校等教員（保健体育）の体育実技試験の受験時は、炎天下、高温の中での実施が予想されるので、各自で体調を整えて臨んでください。

(7) 携行品等

ア 携行品

①受験票 ②第1次試験結果通知 ③筆記用具 ④弁当

※第1次試験免除の特別選考志願者は人物考査書

イ 志願区分・教科等で必要なもの

①小学校等教員…運動着、体育館シューズ、全訳バイエルピアノ教則本
体育実技調書（第1次試験合格者（免除者を含む。）に配布）

②中学校等教員

- ・社 会…赤鉛筆、定規
- ・数 学…三角定規、コンパス、（中学校学習指導要領、中学校学習指導要領解説数学編、中学校数学の教科書に限り持ち込み可）
- ・理 科…白衣、タオル
- ・音 楽…コンコーネ50番、歌唱曲の楽譜、アルトリコーダー

※任意の楽器又は歌唱の演奏においては、ピアノ以外の楽器については各自で準備し、伴奏を必要とする場合には、各自カセットテープの伴奏を用意すること。

- ・美術…水彩用具一式（画板、水入れを含む。）、白衣・エプロン等
※彩色は水性の画材とする。（水性の画材とは、水彩絵具（透明及び不透明）、アクリル絵具、顔彩等、各自の制作経験から判断すること。）
- ・保健体育…上ばき、はきもの入れ、運動着、運動靴（下履き、体育館シューズ）、水着及び水泳帽（ゴーグル使用可）、受験種目に必要な運動用具（柔剣道着、竹刀、防具）、帽子、水分補給用の水（スポーツドリンク等も可）、体育実技調書（第1次試験合格者（免除者を含む。）に配布）
- ・技術…げんのう、かんな、さしがね、のこぎり、きり、作業に適する服装、製図用の三角定規、ものさし、コンパス、ディバイダ
- ・家庭…調理実習用白衣（または長袖エプロン）、三角巾、マスク、裁縫用具一式
- ③養護教員…上ばき、はきもの入れ、運動着

3 試験日程等の変更の場合

- ・計画停電等により試験日程等が変更になる場合は、実施日の1週間前から埼玉県教育委員会のホームページに掲載しますので、志願者は、必要な情報を確認の上、対応をお願いします。

4 試験結果の通知

(1) 第1次試験の結果

- ・平成23年7月28日（木）午前10時に第1次受験者全員に通知を発送します。
- ・同時刻に県教育委員会のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

(2) 第2次試験の結果

- ・平成23年9月30日（金）午前10時に第2次受験者全員に通知を発送します。
- ・同時刻に県教育委員会のホームページに合格者の受験番号を掲載します。

(3) 成績の開示

- ・受験者全員の第1次試験の成績及び第2次試験の成績について、埼玉県教育委員会の保有する個人情報の保護等に関する規則に基づき口頭により開示請求することができます。なお、電話及び代理人による開示請求はできません。

請求できる者	開示内容	開示予定期間・時間	開示場所
第1次試験 受験者本人	総合評価（5段階）及び筆答試験、 面接試験、論文試験の得点	平成23年9月1日から 平成24年3月1日まで	県政 情報センター （埼玉県庁 第2庁舎 1階）
第2次試験 受験者本人	総合評価（5段階）及び論文試験、 実技試験、面接試験の得点	平成23年11月1日から 平成24年5月1日まで	
受験票を持参すること。		午前9時から12時まで 午後1時から5時まで 〔土・日・祝日及び12月29日～31日、 1月1日～3日を除く。〕	

5 登載・採用

- ・第2次試験の合格者を「平成24年度埼玉県公立小・中学校等教員採用候補者名簿」（以下「採用候補者名簿」という。）に登載します。
- ・登載の有効期間は、平成24年4月1日から1年間とします。ただし、合格者のうち、該当する校種、教科の免許状を既に取得している大学院修士課程1年生は、本人の申請に基づく埼玉県教育委員会の許可により、名簿への登載を1年間猶予することとします。
- ・日本国籍の者は教諭として、日本国籍を有しない者は任用の期限を付さない常勤の講師として任用します。
- ・以下の場合、採用候補者名簿に登載しません。

ア 平成24年3月31日までに志願区分・教科の免許状が取得できない場合。

イ 公務員としての信用失墜行為等があった場合。

- ・健康状態に関して、埼玉県教育委員会の指定する健康診断の結果、心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えられないことが明らかとなった場合には、採用候補者名簿から削除されます。

※ 埼玉県では、第2次試験に合格した大学4年生等を市町村立小・中学校に派遣し、児童生徒の学習活動等に対する支援を行う教員インターンシップ事業を行っています。

派遣期間は、11月から翌年3月上旬までの期間を予定しています。多くの方の参加をお願いします。

VI 参 考

1 採用時の待遇

- ・給料、給料の調整額、教職調整額、地域手当等の合計金額は、おおむね右のとおりです。
- ・この他に期末・勤勉手当及び職員の実情により、扶養手当、通勤手当、住居手当等を支給します。

小・中学校	大学卒 224,000円
	短大卒 199,000円
特別支援学校	大学卒 236,000円
	短大卒 206,000円

(平成23年4月1日現在)

VII 志願書・志願票の記入上の注意事項

※印の欄を除いて、全ての該当する欄に、自筆で記入又は○で囲む。記入に当たっては、黒インク又は黒ボールペンを使って、かい書で記入すること。

1 志願書

- (1) 年齢は平成24年3月31日現在で記入すること。(4月1日生の者は3月31日で1歳増える。)
- (2) 中学校等教員志願者は、「受験教科(科目)」欄に教科を記入すること。
- (3) 選考区分欄は該当の前に○を付し、()内に、障害者特別選考試験志願者は「障害者」、経験者特別選考試験志願者は「経験者」、臨時的任用教員経験者特別選考試験志願者は「臨任A」又は「臨任B」、小学校大学推薦特別選考試験志願者は「小・大学推薦」、中学校大学推薦(数学・理科)特別選考試験志願者は「中・大学推薦」、得意・特技特別選考試験志願者は「得意・特技」、国際貢献活動経験者特別選考試験志願者は「国際貢献」、特別支援学級担当特別選考志願者は「特別支援学級」と記入すること。
- (4) 採用事務連絡先は、必ず連絡が取れるよう記入すること。その他がある場合は、()内に相手方が分かるように記入すること。
- (5) 教員免許状の種別欄は、小1種、中専修のように略して記入してもよい。取得済の者は「取得」に、取得見込の者は「取得見込」に○を付ける。高等学校免許状は記入しない。また、同一校種・教科で複数の免許状所有者は、上位の免許状(例えば、専修と1種を所有している場合は専修)のみ記入すること。
- (6) 最終学歴欄は、①大学院在学又は修了の者、②大学卒業後、通信教育・聴講等により教員免許状を取得中又は取得した者、③大学卒業後、県立教員養成所を卒業した者は、「大学」欄も併せて記入すること。最終学歴が専門学校等(大学、大学院以外)の者は、養成学校等の欄に記入すること。
- (7) 特別支援学校の希望欄は、いずれかに○を付ける。いずれに○を付けても選考上で有利・不利になることは一切ない。
- (8) 備考欄は、中学校保健体育受験者が第2次試験の選択種目(4つ)を記入する。
- (9) 所有資格等欄は、司書教諭資格、臨床心理士、柔道・剣道などの段位、各種検定などの指導に生かせる資格など参考となるものを記入すること。
- (10) 職歴欄の所在地は、県内は市町村名、県外は都道府県名及び市町村名を記入すること。また、県内の公立学校においては勤務先(学校名)のみを記入すること。本採用、正規採用の場合は「本」に、臨時的任用、非常勤、アルバイト等の場合は「臨」に○を付ける。在家庭については記入しないこと。
記入欄が足りない場合は、欄を分けて記入し、できるだけ用紙を継ぎ足すことなく記入する。

- (1) 志願区分・教科欄は、コード番号（P14別表2の1）を記入すること。
- (2) 受験番号欄は、記入しないこと。
- (3) 氏名欄はカタカナで次の例のように記入すること。

ウ	ラ	ワ	ノ	フ	”	オ						
---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

- 例

昭和62年 4月 6日生 ← この欄も記入

- (6) 最終学校名欄は上の欄に、最終学校名（大学院修了又は修了見込の者は、既に卒業した大学名）を文字で記入し、下の欄にコード番号（別表２の３）を記入すること。大学等卒業後、通信教育や聴講生で教員免許状を取得（取得中）の者であっても、既に卒業した大学名等を記入すること。
- (7) 職歴欄は、以下の点に留意し、コード番号（別表２の５）を記入すること。
- 新規学卒者…平成２４年３月卒業（修了）見込の者
- 教職経験者…国公立学校の教員（臨時的任用を含む。）経験者。ただし、民間企業等に勤務した経験のある者は含まない。（「民間企業等勤務経験者」に含む。）
- 民間企業等勤務経験者…教職以外の継続的な雇用に係る勤務経験者（民間企業での勤務等。教職以外の公務員も含む。アルバイト等を除く。）勤務期間が連続して３年間以上の者（平成２４年３月３１日までを見込む。）は、「民間企業等勤務経験者（３年以上）」
- (8) 大学院等欄は、該当者のみコード番号（別表２の６）を記入すること。
- (9) 免許状欄の上の欄に、「小専」「中１国」のように免許状の種類を略記し、下の欄にコード番号（別表２の２）を記入する。その他、１の(5)に準ずること。
- (10) 教職経験欄は、教職経験のある者のみ、コード番号（別表２の７）を記入すること。
- (11) 特支希望欄は、特別支援学校の希望を、コード番号（別表２の８）により記入すること。志願書の特別支援学校の希望と合わせる。
- (12) 小・中学校欄は、小学校を志願する者で、中学校の普通免許状を取得している者又は取得見込の者は「１」、中学校を志願する者で、小学校の普通免許状を取得している者又は取得見込の者は「２」を記入すること。
- (13) 本県出身欄は、埼玉県内の中学校又は高等学校を卒業した者は「１」と記入すること。

* 提出書類の誤記が毎年見られます。提出前によく確認し、誤りのないように注意願います。

○埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課

TEL048-830-6937 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 a6930@pref.saitama.lg.jp

TEL048-822-4096 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎内

TEL049-242-1802 〒350-1124 川越市新宿町1-1-1 川越地方庁舎内

TEL048-523-2818 〒360-0031 能谷市末広3-9-1 能谷地方庁舎内

TEL048-737-2117 〒344-0038 春日部市大沼1-76 春日部地方庁舎内

- ・選考試験の内容で、要項に記載のない事項についてのお問い合わせには応じられません。
- ・午前9時～12時、午後1時～5時（土・日・祝日を除く。）

別表1 出願書類提出先・試験会場

志願区分等		志願書等 持参先・郵送先	第1次試験会場	第2次試験会場
小 学 校 教 員	県内 会場 (男)	東 部 教育事務所 〒344-0038 春日部市大沼1-76 春日部地方庁舎内 TEL048-737-2117 ・東武伊勢崎線・野田線「春日部駅」 西口下車徒歩約20分 朝日バス「地方庁舎前」下車すぐ	①春日部市立粕壁小学校 春日部市粕壁東3-2-19 TEL048-754-6321 ・東武伊勢崎線・野田線「春日部駅」東口下車徒歩約10分 ----- ②春日部市立八木崎小学校 春日部市中央4-1 TEL048-754-4433 ・東武伊勢崎線・野田線「春日部駅」西口下車徒歩約10分	文教大学（両日） （越谷キャンパス） 越谷市南荻島3337 ・東武伊勢崎線「北越谷駅」 西口下車徒歩約10分
	県内 会場 (女)	南 部 教育事務所 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎内 TEL048-822-4096 ・JR京浜東北線「北浦和駅」 西口下車徒歩約10分 国際興業バス・西武バス 「二度栗山」下車すぐ	①川口市立南中学校 川口市舟戸町2-3 TEL048-222-3540 ・JR京浜東北線「川口駅」東口下車徒歩約15分 ・埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車徒歩約12分 ----- ②川口市立上青木中学校 川口市上青木西3-9-1 TEL048-265-3318 ・JR京浜東北線「西川口駅」東口下車 バス約15分「総合高校」下車または徒歩約30分 ----- ③川口市立西中学校 川口市宮町16-1 TEL048-253-1231 ・JR京浜東北線「川口駅」西口下車徒歩約15分 またはバス約8分「川口西中学校」下車	埼玉大学（両日） さいたま市桜区下大久保255 ・JR京浜東北線「北浦和駅」 西口下車バス約15分 ・JR埼京線「南与野駅」 下車バス約10分 ・東武東上線「志木駅」 下車バス約20分
小・中 (数・理)	仙台 会場 ----- 弘前 会場	【持参（5月28日のみ）】 東北福祉大学（国見キャンパス） ※場所…右記参照 【郵送】 埼玉県教育庁小中学校人事課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL048-830-6937 ※小学校及び中学校数学、理科 の第1次試験を実施。	東北福祉大学（国見キャンパス） 仙台市青葉区国見1-8-1 TEL022-233-3111(代) ・JR仙山線「東北福祉大前駅」下車徒歩約5分 ・JR仙山線「北山駅」下車徒歩約10分 ----- 弘前大学 弘前市文京町1番地 TEL0172-36-2111(代) ・JR「弘前駅」下車徒歩約15分、 またはバス約10分小栗山線「弘前大学前」 下車	◆小学校 男子…文教大学（両日） 女子…埼玉大学（両日） （上記参照） ◆中学校数学 東京国際大学（両日） （下記参照） ◆中学校理科 立正大学（両日） （下記参照）
中 学 校 教 員	社会 ----- 国語 数学 ----- 英語	西 部 教育事務所 〒350-1124 川越市新宿町1-1-1 川越地方庁舎内 TEL049-242-1802 ・東武東上線・JR川越線「川越駅」 西口下車徒歩約5分	①川越市立川越第一中学校 川越市小仙波町5-6 TEL049-222-1204 ・東武東上線・JR川越線「川越駅」下車徒歩約13分 ・西武新宿線「本川越駅」下車徒歩約15分 ----- ②川越市立初雁中学校 川越市宮下町1-21-3 TEL049-222-0749 ・東武東上線・JR川越線「川越駅」下車 バス「札の辻」下車徒歩約5分 ・西武新宿線「本川越駅」下車徒歩約15分 ----- ③川越市立野田中学校 川越市野田町2-19-14 TEL049-246-8484 ・東武東上線「川越市駅」下車徒歩約20分	東京国際大学（両日） （第1キャンパス） 川越市の場北1-13-1 ・東武東上線「霞ヶ関駅」 南口下車徒歩約5分 ・JR川越線「的場駅」下車 徒歩約13分
	保体 理科 美術 ----- 音楽 技術 家庭	北 部 教育事務所 〒360-0031 熊谷市末広3-9-1 熊谷地方庁舎内 TEL048-523-2818 ・JR高崎線「熊谷駅」 北口下車徒歩約15分	①熊谷市立富士見中学校 熊谷市中央3-103 TEL048-521-0314 ・JR高崎線、秩父鉄道「熊谷駅」北口下車徒歩約 25分またはバス約8分「富士見中入口」下車 ----- ②熊谷市立熊谷西小学校 熊谷市中央1-1 TEL048-521-0016 ・JR高崎線、秩父鉄道「熊谷駅」北口下車徒歩約 25分またはバス約5分「ハローワーク熊谷前」下車	■保体（1日目） 熊谷市立富士見中学校 （左記参照） ■保体（2日目）及び 理・音・美・技・家（両日） 立正大学（熊谷キャンパス） 熊谷市万吉1700 ・JR高崎線、秩父鉄道「熊谷駅」南口下 車、バス約10分「立正大学」下車 ・東武東上線「森林公園駅」北口下車バス 約12分「立正大学」下車
養 護 教 員		東 部 教育事務所 （上記参照）	春日部市立立野小学校 春日部市南中曽根1074 TEL048-736-0001 ・東武野田線「豊春駅」東口下車徒歩約20分	文教大学（両日） （上記参照）

別表2 志願票（電算用）記入のために

1 志願区分・教科コード表

	県内	仙台	弘前
小学校等	101	111	121
中学校等	国語	201	—
	社会	202	—
	数学	203	213
	理科	204	214
	音楽	205	—
	美術	206	—
	保健体育	207	—
	技術	208	—
	家庭	209	—
	英語	210	—
養護教員	301	—	—

2 免許状コード表

小学校		専修	1 0
		1種	1 1
		2種	1 2
中学校	国語	専修	2 0
		1種	2 1
		2種	2 2
		専修	2 3
	社会	1種	2 4
		2種	2 5
		専修	3 0
	数学	1種	3 1
		2種	3 2
		専修	3 3
	理科	1種	3 4
		2種	3 5

中学校	音楽	専修	4 0
		1種	4 1
		2種	4 2
	美術	専修	4 3
		1種	4 4
		2種	4 5
	保健体育	専修	5 0
		1種	5 1
		2種	5 2
	保健	専修	5 3
		1種	5 4
		2種	5 5
学校	技術	専修	6 0
		1種	6 1
		2種	6 2

中学校	家庭	専修	6 3
		1種	6 4
		2種	6 5
	英 語	専修	7 0
		1種	7 1
		2種	7 2
養護教員		専修	8 0
		1種	8 1
		2種	8 2
特別支援 学校		専修	9 0
		1種	9 1
		2種	9 2

※平成元年3月31日以前に
取得した1級は1種、2級
は2種とみなす。

3 最終学校コード表

国立大学法人	
北海道大学	101
北海道教育大学	102
弘前大学	103
岩手大学	104
東北大学	105
宮城教育大学	106
秋田大学	107
山形大学	108
福島大学	109
茨城大学	110
宇都宮大学	111
群馬大学	112
埼玉大学	113
千葉大学	114
東京大学	115
東京外語大学	116
筑波大学	117
東京芸術大学	118
東京海洋大学	119
お茶の水女子大学	120
東京学芸大学	121
東京農工大学	122
電気通信大学	123
一橋大学	124
横浜国立大学	125
新潟大学	126
富山大学	127
金沢大学	128
福井大学	129
山梨大学	130
信州大学	131
静岡大学	132
愛知教育大学	133
京都教育大学	134
大阪教育大学	135
神戸大学	136
奈良教育大学	137
奈良女子大学	138

和歌山大学	139
鳥取大学	140
島根大学	141
岡山大学	142
広島大学	143
徳島大学	144
愛媛大学	145
高知大学	146
福岡教育大学	147
九州大学	148
佐賀大学	149
長崎大学	150
大分大学	151
琉球大学	152
上越教育大学	153
兵庫教育大学	154
鳴門教育大学	155
その他の国立大学	199

公立大学	
高崎経済大学	201
首都大学東京	202
横浜市立大学	203
都留文科大学	204
静岡県立大学	205
愛知県立大学	206
京都府立大学	207
大阪市立大学	208
大阪府立大学	209
兵庫県立大学	210
北九州大学	211
福岡女子大学	212
群馬県立女子大学	213
埼玉県立大学	214
その他の公立大学	299

埼玉県内の私立大学	
跡見学園女子大学	301
東京国際大学	302
城西大学	303
東邦音楽大学	304
獨協大学	305
日本工業大学	306
文教大学	307
埼玉工業大学	308
尚美学園大学	309
・芝浦工業大学	310
・東洋大学	311
・大妻女子大学	312
・武蔵野音楽大学	313
・女子栄養大学	314
・大東文化大学	315
・東京電機大学	316
・立正大学	317
駿河台大学	318
十文字学園女子大学	319
聖学院大学	320
その他県内私立大学	399

※・印の大学については、
学部によって県外にある
ものも、このコードで記
入すること。

埼玉県外の私立大学	
東北女子大学	401
弘前学院大学	402
仙台大学	403
東北学院大学	404
東北福祉大学	405
宮城学院女子大学	406
盛岡大学	407
ノースアジア大学	408
郡山女子大学	409
足利工業大学	410
上武大学	411
関東学園大学	412
淑徳大学	413
千葉経済大学	414
千葉工業大学	415
千葉商科大学	416
和洋女子大学	417
青山学院大学	418
上野学園大学	419
学習院大学	420
北里大学	421
共立女子大学	422
慶應義塾大学	423
工学院大学	424
國學院大学	425
国士舘大学	426
駒澤大学	427
実践女子大学	428
順天堂大学	429
上智大学	430
昭和女子大学	431
女子美術大学	432
成城大学	433
聖心女子大学	434
清泉女子大学	435
専修大学	436
大正大学	437
拓殖大学	438

多摩美術大学	439
中央大学	440
東海大学	441
東京家政大学	442
東京家政学院大学	443
東京女子大学	444
東京農業大学	445
東京理科大学	446
東邦大学	447
東京音楽大学	448
二松学舎大学	449
日本大学	450
日本社会事業大学	451
日本女子大学	452
日本女子体育大学	453
日本体育大学	454
法政大学	455
武蔵大学	456
東京都市大学	457
明治大学	458
明治学院大学	459
立教大学	460
早稲田大学	461
亜細亜大学	462
桜美林大学	463
国立音楽大学	464
白百合女子大学	465
成蹊大学	466
玉川大学	467
津田塾大学	468
帝京大学	469
東京経済大学	470
東京女子体育大学	471
東京造形大学	472
武蔵野大学	473
武蔵野美術大学	474
明星大学	475
和光大学	476
創価大学	477
神奈川大学	478
鶴見大学	479
鎌倉女子大学	480
洗足学園音楽大学	481

金沢星陵大学	482
長野大学	483
岐阜聖徳学園大学	484
相山女学園大学	485
中京大学	486
名古屋女子大学	487
南山大学	488
日本福祉大学	489
名城大学	490
京都外国語大学	491
同志社大学	492
同志社女子大学	493
仏教大学	494
立命館大学	495
龍谷大学	496
大阪体育大学	497
関西大学	498
近畿大学	499
関西学院大学	500
武庫川女子大学	501
天理大学	502
岡山理科大学	503
ノートルダム清心女子大学	504
九州女子大学	505
西南学院大学	506
福岡大学	507
杏林大学	508
国際基督教大学	509
日本獣医生命科学大学	510
関東学院大学	511
至学館大学	512
京都女子大学	513
相模女子大学	514
国際武道大学	515
川村学園女子大学	516
聖徳大学	517
創造学園大学	518
秀明大学	519
その他県外私立大学	599
埼玉県内の短期大学	
埼玉県立大学短期大学部	601
・上野学園大学短期大学部	602
十文字学園女子短期大学	603

・大妻大学短期大学部	604
秋草学園短期大学	605
埼玉純真女子短期大学	606
埼玉短期大学	607
城西短期大学	608
共栄学園短期大学	609
浦和短期大学	610
武蔵丘短期大学	611
その他の県内の短期大学	699

※・印の大学については、
学部によって県外にある
ものも、このコードで記
入すること

埼玉県外の短期大学	
茨城リョウマ大学短期大学部	701
宇都宮短期大学	702
國學院大学栃木短期大学	703
関東短期大学	704
千葉敬愛短期大学	705
聖徳大学短期大学部	706
千葉経済大学短期大学部	707
青山学院女子短期大学	708
跡見学園女子大学短期大学部	709
川村短期大学	710
共立女子短期大学	711
国土館短期大学	712
駒澤女子短期大学	713
駒澤短期大学	714
実践女子短期大学	715
昭和女子大学短期大学	716
女子栄養大学短期大学部	717
女子美術大学短期大学部	718
帝京短期大学	719
東京家政大学短期大学部	720
東邦音楽短期大学	721
日本体育大学女子短期大学部	722
日本大学短期大学部	723
目白学園女子短期大学	724
目白学園女子短期大学	725

東京女子体育短期大学	726
鶴見大学短期大学部	727
昭和音楽大学短期大学部	728
鎌倉女子大学短期大学部	729
洗足こども短期大学	730
湘南衛生短期大学	731
飯田女子短期大学	732
長野県短期大学	733
名古屋学芸大学短期大学部	734
愛知みずほ大学短期大学部	735
鈴鹿国際大学短期大学部	736
大阪成蹊短期大学	737
神戸女子短期大学	738
吉備国際大学短期大学部	739
九州女子短期大学	740
佐賀女子短期大学	741
鹿児島純心女子短期大学	742
鹿児島国際大学短期	743
高崎健康福祉大学短期大学部	744
国際短期大学	745
東洋女子短期大学	746
佐野短期大学	747
高崎芸術短期大学	748
その他の県外の短期大学	799
大学・短大以外の学校	
埼玉県立養護教諭養成所	801
高等専門学校	802
高等学校	803
横浜高等教育専門学校(大卒者を除く)	804
その他各種学校(大卒者を除く)	805
大学中退	806

4 学歴コード表

国立の教員養成大学・学部	1
1以外の国立大学	2
公立大学	3
私立大学	4
国・公・私立短期大学	5
教員養成機関等	6
大学院等	7
上記以外	8

5 職歴等コード表

新規学卒者(大学院を含む)	1
教職経験者	2
民間企業等勤務経験者(3年以上)	3
民間企業等勤務経験者(3年未満)	4
上記以外	5

6 大学院等コード表

大学院をすでに修了している者	1
大学院修了見込の者	2
大学専攻科をすでに修了している者	3
大学専攻科を修了見込の者	4

7 教職経験コード

本県公立学校の教員として現在臨時的任用(非常勤含む)中の者	1
他都道府県、指定都市の公立学校の教員として現在本採用の者	2
本県公立学校の職員(教員を除く)として本採用の者	3
上記1, 2, 3以外の者で、教員経験がある者	4

8 特別支援学校への 採用希望コード表

採用を強く希望する者(第一希望)	1
採用されてもさしつかえない者	2
採用を希望しない者	3

採用選考試験の流れ



採用選考試験受験状況

	平成23年度採用		平成22年度採用		平成21年度採用	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
小学校等教員	2,444人	731人	2,117人	717人	2,003人	710人
中学校等教員	2,519人	361人	2,273人	343人	2,110人	330人
養護教員	351人	45人	331人	48人	306人	48人